㈢　排水対策及び石灰安定処理に着目した本線盛土場における黄鉄鉱対策工の施工方法

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

③　安全管理

㈡　土運搬における市道久田野線に対する安全管理

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

④　環境対策

㈠　土工工事における水質汚濁防止対策・土砂流出防止対策

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

⑹　入札参加者の選定方法

技術提案の施工計画の内容により、満点100点の技術評価点を付与し、技術評価点が50点以上の者を入札参加者として選定する。

⑺　落札者の決定方法

競争参加応募者に技術提案を提出させ、技術提案の施工計画を評価し、技術評価点が50点以上の者を選定し、あらかじめ提出していた入札書を開札し、契約制限価格の範囲内の入札額で最も総合評価点の高い者を落札者とする。

総合評価点数の算出方法は、以下のとおりとする。

①　技術評価点：標準案による満点100点とし、３⑸による。

②　価格評価点：100－200×（Ｐ／Ｌ－Ｘ／Ｌ）（0.75Ｌ≦Ｐ≦1.0Ｌ）
100／（Ｘ／Ｌ）×Ｐ／Ｌ（Ｐ＜0.75Ｌ）

ここに、Ｐ：入札書に記載の価格（入札価格）
Ｌ：契約制限価格
Ｘ：0.75Ｌ以上の最低入札価格

ただし、入札価格が全て0.75Ｌを下回る場合はＸ／Ｌを0.75とする。

③　総合評価点：技術評価点×0.5＋価格評価点×0.5

⑻　契約金額の決定方法

落札者の提示した入札価格に対して、技術提案（施工計画）の対象外の範囲について技術提案協議を行い、技術提案協議完了後の価格を契約金額とする。

⑼　技術提案の履行に関する事項

受注者の責により、技術提案を履行できない場合は、その程度により請負工事成績評定を最大10点減点及び契約書第45条の３による請負代金額の減額を行う。また、契約違反としての措置を講じる場合がある。

⑽　技術提案にあたっての留意事項

技術提案書の作成にあたっては、特記仕様書・設計図書等に記載の制約条件等を十分に確認のうえ作成すること。条件を満足しない提案については、不適格とする。

４　入札手続等

⑴　担当部局　〒460―0003 愛知県名古屋市中区錦２―18―19　中日本高速道路株式会社名古屋支社総務企画部　契約チーム　弓矢正博　電話052―222―1447

⑵　入札説明書の交付期間、場所及び方法

①　交付期間：平成21年７月15日（水）から平成21年８月31日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前10時から午後４時まで。

②　交付場所：上記４⑴に同じ。

③　交付方法：入札説明書及び契約書類、図面、仕様書等の設計図書はＣＤ－Ｒにより無償で交付する。

⑶　申請書、確認資料及び参加希望者が共同企業体を構成する場合の共同企業体協定書案及び技術提案（施工計画）並びに入札書（以下「申請書等」という。）の提出期間、場所及び方法

①　期　　間：平成21年７月16日（木）から平成21年８月31日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前10時から午後４時まで。ただし、入札書に限定した扱いとして平成21年９月11日（金）までの土曜日、祝日を除く毎日午前10時から午後４時までとする。

②　場　　所：上記４⑴に同じ。

③　方　　法：持参すること。入札書については４⑴に記載する部署への郵送も可（提出期限までに必着のこと。）

⑷　技術提案のプレゼンテーション

技術提案のプレゼンテーションを下記の要領で実施する。

①　時　期：平成21年９月14日（月）～平成21年９月29日（火）のいずれかを予定

②　方　法：技術提案の内容説明(20分以内)後に質疑応答（10分程度）を行う。

③　その他：申請者別のプレゼンテーション日時及び場所は追って通知する。

⑸　開札の日時及び場所

①　開札日時：平成21年11月４日（水）午前10時00分

②　場　　所：上記４⑴の中日本高速道路株式会社名古屋支社８階　入札室

５　その他

⑴　契約の手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨に限る。

⑵　入札保証金及び契約保証金

①　入札保証金　免除

②　契約保証金　納付

ただし、有価証券の提供又は金融機関等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

⑶　入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書等に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

⑷　配置予定監理技術者の確認

落札者決定後、ＣＯＲＩＮＳ等により配置予定の監理技術者の専任制違反の事実が確認された場合は、契約を結ばないことがある。なお、病気、死亡、退職等の極めて特別な場合でやむを得ないものとして承認された場合の外は、確認資料の記載内容の変更は認められない。病気等特別な理由により、やむを得ず配置予定技術者を変更する場合は、２⑸に掲げる基準を満たし、かつ当初の配置予定技術者と同等以上であると発注者が承認した者を配置しなければならない。

⑸　申請書等の作成及び提出に要する費用は提出者の負担とする。

⑹　提出された競争参加資格確認資料は、原則として返却しない。

⑺　手続における交渉の有無　無

⑻　契約書作成の要否　要

⑼　当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を、当該工事の請負契約の相手方と随意契約により締結する予定の有無　無

⑽　技術提案のプレゼンテーションを実施する。詳細は入札説明書による。

⑾　関連情報を入手するための照会窓口は、上記４⑴に同じ。

⑿　一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加

上記２⑵に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記４⑶により申請書等を提出することができるが、競争に参加するためには、開札時において当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けなければならない。

⒀　「調査基準価格」を下回る入札を行った者

「調査基準価格」を下回る入札を行った者との契約については、契約保証金の額を請負代金額の10分の３以上とするとともに、前払金の額を請負代金額の10分の２以内とする。なお、本借置は工事が進捗した場合の部分払の請求を妨げるものではない。

また、低入札価格調査は、入札額が「重点調査価格」を下回った場合に実施する。

⒁　専任の主任（監理）技術者の配置が義務付けられている工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、主任（監理）技術者とは別に同等の要件を満たす技術者の配置を求めることがある。（入札説明書参照）

⒂　詳細は入札説明書による。